

事務事業名		さかなグルメのまち地域振興事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	0 3 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分		
	基本事業名	0 3 観光宣伝の充実		単年度繰返		
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入		
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室		【開始年度】		
	課長名	古内 弘一		平成28 年度～		
	係名	-		-		
	担当者	富山 智門	電話	0192-27-3111	-	
			内線	160		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
<p>「水産のまち大船渡の経済復興協議会」の構成団体である「さかなグルメのまち大船渡実行委員会」が実施する「さかなグルメ」普及イベントに対し、負担金を支出する。</p> <p>「さかなグルメのまち大船渡実行委員会」の主な活動として、小中学生を対象としたさんま大漁旗コンテストや市内飲食店を対象としたさかなグルメフェアの実施、PRキャラクター「秋刀魚武士」の各種イベントへの出展を通じた取組のPRなどを実施。</p>				総投入量 (千円)	国庫支出金	
					都道府県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	
				事業費計(A)	0	
				正規職員従事人数		
				延べ業務時間		
				人件費計(B)	0	
				トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大船渡市内飲食店での「さかなグルメフェア」の実施 PRキャラクター「秋刀魚武士」を活用したさかなグルメのまちのPR さんま大漁旗コンテストの実施 <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> さんま大漁旗コンテスト、さかなグルメフェアの実施 PRキャラクター「秋刀魚武士」を活用したさかなグルメのまちのPR(グッズ作成、イベント出展等) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 事業実施数</td> <td>事業</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 事業実施数	事業	イ		ウ	
名称	単位								
ア 事業実施数	事業								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
<p>直接対象 水産のまち大船渡の経済復興協議会</p> <p>間接対象 市民及び観光客(潜在的な観光客)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ さかなグルメ普及イベント参加店舗数</td> <td>店</td> </tr> <tr> <td>キ 日本の人口</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ さかなグルメ普及イベント参加店舗数	店	キ 日本の人口	千人	ク	
名称	単位								
カ さかなグルメ普及イベント参加店舗数	店								
キ 日本の人口	千人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の効果的かつ円滑な運営を行う。 より多くの市民に関わってもらい、さんまへの想いを醸成する。 「さんまと言えば大船渡」「さかなグルメのまち大船渡」の周知 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ さかなグルメ普及イベント参加店舗数</td> <td>店</td> </tr> <tr> <td>シ 観光入込客数(暦年)</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ さかなグルメ普及イベント参加店舗数	店	シ 観光入込客数(暦年)	千人	ス	
名称	単位								
サ さかなグルメ普及イベント参加店舗数	店								
シ 観光入込客数(暦年)	千人								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡市を訪れる。 魅力がPRされ、認知度が高まる。 「さんまと言えば大船渡」「さかなグルメのまち大船渡」の実現 									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	1,098	1,000	1,000	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	1,000	0	1,500	
		一般財源	千円	550	500	1,000	500	500	0	
	事業費計(A)		千円	1,648	1,500	2,000	1,500	500	1,500	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	2	2	
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200	
		人件費計(B)	千円	800	800	800	800	800	800	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,448	2,300	2,800	2,300	1,300	2,300
⑤活動指標										
	ア	事業		5	5	6	10	6	6	
	イ									
	ウ									
⑥対象指標										
	カ	店		10	19	25	27	25	25	
	キ	千人		125,855	125,071	124,554	124,554	124,554	124,554	
	ク									
⑦成果指標										
	サ	店		10	19	25	27	25	25	
	シ	千人		430	484	584	638	797	817	
	ス									

事務事業ID	1713	事務事業名	さかなグルメのまち地域振興事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成28年度から事業が本格稼働。官民が協力し、魚食を通じたさかなグルメによるシビックプライドの醸成、地域振興を目的として事業が開始された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・初年度の活動として、市民を中心に「さんまと言えば大船渡」の機運醸成の基礎を構築。取組による成果が、徐々に現れている。 ・本州水揚げ日本一を誇る「さんま」を食のけん引役としていたが、水揚げの減少や価格が高騰していることから、代替魚種の検討が求められている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	実行委員会等を通じて、とまにまちづくりを志す参画希望者も現れているほか、地域課題等を整理し、活動をより充実化させたい旨、要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容 地域資源の「さんま」をはじめとする水産物により、積極的なイベント展開及びグルメによるまちづくりを進めることで、交流人口の増大が図られることから、市の政策に直結するものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容 本事業は、官民が一体となって進めている事業であり、特定の事業所の利益に繋がるようなものではなく、「さかなグルメ」といえば大船渡としての市全体のイメージアップやPR、まちづくりのために行なわれていることから、市が関与することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容 継続した取組により、本事業が徐々に浸透するとともに成果にも結びついていることから、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容 これまでの取組を通じて一定程度の成果が挙げられているが、さかなグルメ普及イベントの参加店舗数を増やすため、さんま以外の魚種についても活用を検討していくほか、これまでの課題を整理し、活動をより充実化させたい旨、要望が寄せられている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容 事業を廃止した場合、これまでの活動を通じて培われた行政と民間の連携体制が切り離されるとともに、信頼関係が崩れ、まちおこしや観光振興にも影響を及ぼすことになる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 事業費の削減が成果の低下に直結するため、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 行政と民間が連携して事業を実施しており、現在行っている事務も必要最小限度であることから削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容 特定の業種・業者の利益にならないような、幅広い委員の構成にするとともに、希望者の参加が可能な体制としている。事業内容に関しても、特定の業社の利益ではなく、まち全体のイメージアップ、まちおこしを目的としている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×	さかなグルメフェア参加店舗数及びメニュー提供数は年々増加しており、重要な観光資源である「海の幸」を味わう機会の提供につながっている。 また、さんま大漁旗コンテストは、参加した児童生徒が基幹産業である水産業を身近に感じることができる事業として一定の評価を得ていることから、継続して取組を促進する。 さらに、秋刀魚武士のイベント出演やSNSによる情報発信を通じて、引き続き「さかなグルメのまち大船渡」の認知度向上と魅力の発信に努めていく必要がある。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	●																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	・当市観光の大きなウエイトを占める「海の幸を中心とする食の魅力」について、民間が前面に立って、その魅力の向上と情報発信に取り組み、地域経済の活性化や官民連携によるまちづくりに貢献している。 ・今後事業の進め方等について議論を深め更なる事業の推進につなげていく。